

令和5年度 施策評価シート

基本目標		安心して暮らせる「すみだ」をつくる
政策	480	未来に引き継ぐ、環境にやさしいまちをつくる
施策	481	地域にやさしい、環境に配慮した暮らしをともにつくる
施策の目標	区民・事業者・区が協働して、環境にやさしいまちを実現するために環境保全活動に取り組んでいます。定着した省エネルギー行動によってエネルギー消費量が減少し、温室効果ガスの排出が抑制されたスマートエネルギーのまちとなっています。	

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	区域におけるエネルギー消費量									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	12,562TJ				11,737TJ					10,280TJ
実績			11,882TJ							

指標名	区域における温室効果ガス排出量									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	126.0万t-CO ₂				112.6万t-CO ₂					89.3万t-CO ₂
実績			120.6万t-CO ₂							

2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移(千円)	
環境に配慮したLED照明灯に取り替えることで、省資源・省エネルギー、温室効果ガス排出量の削減となり、環境にやさしいまちを実現することに繋がる。 道路照明灯、公園園内灯の多くはリース化によるLED化を行ったが、デザイン照明灯などの一部は未だ、水銀ランプを使用している。 水銀ランプは、「水銀規制に関する水俣条約」により製造中止となったので、LED照明灯への交換を急ぐ必要がある。	R2	235,696
	R3	0
	R4	272,198

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	照明灯のLED化率は、道路照明灯96%、公園園内灯94%となった。LED化が進んだことで、省資源・省エネルギーとなり、温室効果ガス排出量の削減に繋がっている。

4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
	(1) 優先的に資源投入を図る。
	(2) 現状維持とする。
	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】	
道路、公園等の照明灯のLED化が完了するまで、継続する必要がある。	
【今後の具体的な方針】	
道路、公園等の照明のLED化を継続しつつ、温室効果ガス排出量を削減できる設備がほかに無いか検討していく。	

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳出 総額 (千円)	目的に対する指標	
					年度目標値	直近の評価内容
					年度実績値	評価結果
						評価対象年度
1	道路照明灯LED化事業費	217,935	4,711	222,646	82	現状維持
					82.1	令和4年度
2	公園園内灯LED化事業費	54,263	6,281	60,544	48	現状維持
					50.8	令和4年度
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

令和5年度 事務事業評価シート

施策	481	地域にやさしい、環境に配慮した暮らしをともにつくる	部内優先順位
事業名	道路照明灯LED化事業費		1
目的	現在、照明灯で使用している水銀灯や蛍光灯を、環境に配慮したLED照明灯に取り替えることで、環境対策及び維持経費抑制を行う。		主管課・係(担当)
			道路公園課計画調整担当 03-5608-6661
対象者	区道を通行する車両・歩行者(区民及び来街者)		
根拠法令 関連計画	道路法、道路構造令、墨田区道における道路構造の技術的基準等に関する条例・同施行規則		
実施基準	法令基準	実施方法	直営 人員体制・委託先 常勤3
事業内容	<p>「水銀規制に関する水俣条約」の採択及び省エネ性能の基準を定める経済産業省の「トップランナー制度」等のLED化への移行の流れを受けて、既存ランプの製造部品が入手困難になり、令和2年末の水銀ランプ製造中止が、主要メーカーの一部で平成29年度に前倒しされた。</p> <p>これを受けて、区内にある道路照明灯約11,500本のうち、事業開始以前にLED化済みの照明灯などを除いた約10,100本を対象に水銀灯等のLED化事業を開始し、そのうち7,690本は平成30年度のリース化によりLED化が完了した。</p> <p>区がLED化する対象はリース以外の約2,400本であり、令和7年度までにLED化を完了するよう進めている。老朽化しているポールの改修については、設置後30年以上経過しないように計画的に建替えを行う。</p>		
経過	開始年度	平成29年度	終了予定
	令和8年度		
過去3年間の実績	<p>[令和2年度] 141基 [令和3年度] 56基 [令和4年度] 104基</p>		
議会質問の状況	[平成30年2定] リース契約における灯具の維持管理について		
その他特記事項	特になし		

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		75,628	199,501	190,116	190,116	219,179	227,454
A.決算額(令和5年度は見込み)		73,924	199,422	190,046	189,368	217,935	227,454
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		73,924	199,422	190,046	189,368	217,935	227,454
執行率(%)		97.7%	100.0%	100.0%	99.6%	99.4%	100.0%
B.人コスト			11,316	12,351	12,314	4,711	
総事業決算額(A+B)		73,924	210,738	202,397	201,682	222,646	
予算書P(令和5年度)	P215 7-2	執行実績報告書P(令和4年度)			P156-2		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
使用料及び賃借料	灯具リース	99,633	使用料及び賃借料	灯具リース	99,632	使用料及び賃借料	灯具リース	99,633
工事請負費	交通安全施設改修	89,736	工事請負費	交通安全施設改修等	118,303	工事請負費	交通安全施設改修等	127,821

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	本事業におけるLED化率				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		100	R7	目標		16	87	90
				実績		15	91	94
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	93	95	97	98	99	100
	実績	96	96	97				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	環境対策及び維持経費抑制の進捗が確認できる、灯具のLED化率を目標値とした。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	「区内の交通環境に満足している」区民の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		85	R7	目標	79			
				実績	79			
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	82					85
実績	82.1							
指標の選定理由及び目標値の理由								
環境に配慮したLED照明灯に取り替え、安全・快適に通行できる状態を確保することが、交通環境に満足している区民割合を高めることに繋がる。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	LED化率97%と、一定の進捗が図られており、100%を目指して事業を進めていく。

課題・問題点
LED化されていないデザイン照明灯があるため、水銀ランプ等の在庫がなくなれば、使用できなくなるので、進捗を急ぐ必要がある。 照明灯のポールは、経年劣化による倒壊の危険性があるので、設置後30年以上経過しないよう、毎年計画的にポールを建て替えていく必要がある。

令和5年度 事務事業評価シート

施策	481	地域にやさしい、環境に配慮した暮らしをともにつくる	部内優先順位
事業名	道路照明灯LED化事業費		1
目的	現在、照明灯で使用している水銀灯や蛍光灯を、環境に配慮したLED照明灯に取り替えることで、環境対策及び維持経費抑制を行う。		主管課・係(担当)
			道路公園課計画調整担当 03-5608-6661
対象者	区道を通行する車両・歩行者(区民及び来街者)		
根拠法令 関連計画	道路法、道路構造令、墨田区道における道路構造の技術的基準等に関する条例・同施行規則		
実施基準	法令基準	実施方法	直営 人員体制・委託先 常勤3
事業内容	<p>「水銀規制に関する水俣条約」の採択及び省エネ性能の基準を定める経済産業省の「トップランナー制度」等のLED化への移行の流れを受けて、既存ランプの製造部品が入手困難になり、令和2年末の水銀ランプ製造中止が、主要メーカーの一部で平成29年度に前倒しされた。</p> <p>これを受けて、区内にある道路照明灯約11,500本のうち、事業開始以前にLED化済みの照明灯などを除いた約10,100本を対象に水銀灯等のLED化事業を開始し、そのうち7,690本は平成30年度のリース化によりLED化が完了した。</p> <p>区がLED化する対象はリース以外の約2,400本であり、令和7年度までにLED化を完了するよう進めている。老朽化しているポールの改修については、設置後30年以上経過しないように計画的に建替えを行う。</p>		
経過	開始年度	平成29年度	終了予定
		令和8年度	
	<p>過去3年間の実績</p> <p>[令和2年度] 141基 [令和3年度] 56基 [令和4年度] 104基</p>		
議会質問 の状況	[平成30年2定] リース契約における灯具の維持管理について		
その他 特記事項	特になし		

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		75,628	199,501	190,116	190,116	219,179	227,454
A.決算額(令和5年度は見込み)		73,924	199,422	190,046	189,368	217,935	227,454
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		73,924	199,422	190,046	189,368	217,935	227,454
執行率(%)		97.7%	100.0%	100.0%	99.6%	99.4%	100.0%
B.人コスト			11,316	12,351	12,314	4,711	
総事業決算額(A+B)		73,924	210,738	202,397	201,682	222,646	
予算書P(令和5年度)	P215 7-2	執行実績報告書P(令和4年度)			P156-2		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
使用料及び賃借料	灯具リース	99,633	使用料及び賃借料	灯具リース	99,632	使用料及び賃借料	灯具リース	99,633
工事請負費	交通安全施設改修	89,736	工事請負費	交通安全施設改修等	118,303	工事請負費	交通安全施設改修等	127,821

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	本事業におけるLED化率				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		100	R7	目標		16	87	90
				実績		15	91	94
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	93	95	97	98	99	100
	実績	96	96	97				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	環境対策及び維持経費抑制の進捗が確認できる、灯具のLED化率を目標値とした。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	「区内の交通環境に満足している」区民の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		85	R7	目標	79			
				実績	79			
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	82					85
実績	82.1							
指標の選定理由及び目標値の理由								
環境に配慮したLED照明灯に取り替え、安全・快適に通行できる状態を確保することが、交通環境に満足している区民割合を高めることに繋がる。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	LED化率97%と、一定の進捗が図られており、100%を目指して事業を進めていく。

課題・問題点
LED化されていないデザイン照明灯があるため、水銀ランプ等の在庫がなくなれば、使用できなくなるので、進捗を急ぐ必要がある。 照明灯のポールは、経年劣化による倒壊の危険性があるので、設置後30年以上経過しないよう、毎年計画的にポールを建て替えていく必要がある。

施策	481	地域にやさしい、環境に配慮した暮らしをともにつくる	部内優先順位
事業名	公園園内灯LED化事業費		2
目的	現在、園内灯で使用している水銀灯や蛍光灯を、環境に配慮したLED照明灯に取り替えることで、消費電力や温室効果ガス排出量を抑制する。		主管課・係(担当)
			道路公園課計画調整担当 03-5608-6661
対象者	公園・児童遊園・区民広場の利用者(区民及び来街者)		
根拠法令 関連計画	都市公園法令、墨田区立公園条例・同施行規則、墨田区公園マスタープラン		
実施基準	法令基準	実施方法	直営 人員体制・委託先 常勤4
事業内容	<p>「水銀規制に関する水俣条約」の採択及び省エネ性能の基準を定める経済産業省の「トップランナー制度」等のLED化への移行の流れを受けて、既存ランプの製造部品が入手困難になり、令和2年末の水銀ランプ製造中止が、主要メーカーの一部で平成29年度に前倒しされた。</p> <p>これを受けて、区内にある公園園内灯約1,600本のうち、園内の照度を確保するために設置されている約1,400本を対象に水銀灯等のLED化事業を開始し、そのうち558本は平成30年度のリース化によりLED化が完了した。</p> <p>本区がLED化する対象はリース以外の約800本であり、令和5年度までにLED化を完了するよう進めている。</p> <p>老朽化しているポールの改修については、設置後30年以上経過しないように建替えを行う。</p>		
経過	開始年度	平成29年度	終了予定
	過去3年間の実績 [令和2年度] 79基 [令和3年度] 52基 [令和4年度] 79基		
議会質問 の状況	[平成30年2定] リース契約における灯具の維持管理について		
その他 特記事項	特になし		

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		17,275	31,650	45,695	49,050	54,607	54,607
A.決算額(令和5年度は見込み)		17,054	31,606	45,650	49,007	54,263	54,607
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		17,054	31,606	45,650	49,007	54,263	54,607
執行率(%)		98.7%	99.9%	99.9%	99.9%	99.4%	100.0%
B.人コスト			11,316	12,351	12,314	6,281	
総事業決算額(A+B)		17,054	42,922	58,001	61,321	60,544	
予算書P(令和5年度)	P218 1-6	執行実績報告書P(令和4年度)			P159-7		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
使用料及び賃借料	灯具リース	15,357	使用料及び賃借料	灯具リース	15,357	使用料及び賃借料	灯具リース	15,357
工事請負費	電球交換、灯柱改修	33,650	工事請負費	電球交換、灯柱改修	38,906	工事請負費	電球交換、灯柱改修	39,250

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	本事業におけるLED化率				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		100	R5	目標		14	59	62
				実績		28	73	80
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	74	82	91	100		
	実績	85	88	94				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	環境対策及び維持経費抑制の進捗確認できる、灯具のLED化率を目標値とした。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	「公園・遊び場」に満足している区民の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		50	R7	目標	41.5		44	
				実績	41.5		42.4	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	46		48		50	50
実績	46.7		50.8					
指標の選定理由及び目標値の理由								
環境に配慮したLED照明灯に取り替え、快適な利用環境をつくりだすことが、公園・遊び場に満足している区民の割合を高めることに繋がる。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	LED化率が94%となり、一定の進捗が図られており、令和5年度で完遂させる。

課題・問題点
LED化されていないデザイン照明灯があるため、水銀ランプ等の在庫がなくなれば、使用できなくなるので、進捗を急ぐ必要がある。 照明灯のポールは、経年劣化による倒壊の危険性があるので、設置後30年以上経過しないよう、毎年計画的にポールを建て替えていく必要がある。